



北方民族博物館だより

No.136



D8.4 衣服 ニブフ 108.9cm

収集地：ロシア・サハリン州ポロナISK市、1996年収集

ニブフの民芸作家エヴゲーニヤ・オーカワ氏(1978～)の作品。1996年にサハリン州ポロナISK市のアレクサンドル・オリホヴィク市長(当時)より当館に寄贈された。紫色の生地に布製のボタンがあり、裾に金属製の垂れ飾りのつけられた長衣。襟ぐりや裾に施された黒の生地にサテンステッチの刺繍が映える。製作者のオーカワ氏は、現在もポロナISKに住み、市立第3学校で一般教科として技術を教えながら、同校の北方民族伝統技術コースで、ニブフの伝統芸術を次世代に伝える仕事をされている。姓のオーカワは、サハリンが日本領だった時代に先住民族が日本姓をつけられた名残である。

目次 Contents

- 1 表紙 衣服
- 2 企画展「カザフの工芸—伝統の意匠 現代の手仕事」
- 3 講座「カザフの装飾文化」
／講習会「カザフの工芸」
- 4 ロビー展「北の風景から」
／講座「北グリーンランドの犬ぞり文化」
- 5 報告 2024年度新収蔵資料
／参加報告 ホリデーイベント「動物の毛皮に触ってみよう—アイヌ民族と北方先住民族の毛皮利用を知る・触る—」
- 6 INFORMATION



ロビー展 「ソ連・ロシアと東欧のマッチラベル」

シンプルでわかりやすいメッセージ性のあるソーシャリズム・リアリズムとも呼ばれるソ連・ロシア・東欧のマッチラベルデザインの魅力をお見せします。

会期：令和7年(2025年)4月26日(土)～5月18日(日)

会期中の休館日：4月29日、5月6日、12日

会場：北海道立北方民族博物館・ロビー

観覧料：無料

協力：ありよしきなこ氏

ソ連国民経済達成博覧会
「幼児玩具」



子どもの線路侵入禁止



国際女性デー祝賀

「北海道立北方民族博物館研究紀要」第34号

目次：

＜研究ノート＞

・服部文庫公開シリーズ11 日本人によるアリュート民族の研究(7)：服部健「アリュート語資料」(5)大島稔、野口泰弘
＜調査報告＞

・樺太アイヌ語タライカ方言のウチャシクマ2篇 村崎恭子
・トビニタイ文化期の石器組成について 村本周三
・モンゴル、ダルハド盆地の環境変化に関する地域住民の認識 中田篤
・ウデヘ語イマン方言の料理と食材に関する語彙 宮川琢
＜資料＞

・のりりすと 2024—北方研究データベース— 笹倉いる美
発行日：令和7年3月21日

報告

令和6年12月6日付で、当館は文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関に指定されました。

INFORMATION

行事報告

◆12月20日(金)、「ロビーコンサート2024 ～青少年のための室内楽の夕べ～ハイドンの世界」(出演：札幌交響楽団員)(主催：一般社団法人北方文化振興協会、一般社団法人山田記念青少年育成財団)を開催しました。



ロビーコンサートの様子

◆1月11日(土)、講習会「はじめての歩くスキーツアー」(講師：中田篤主任学芸員、網走スキー協会会員)を開催しました。北方民族のスキーも紹介するイベントになりました。



天気に恵まれ、スキー日和でした。

◆2月1日(土)はくぶつかんクラブ「まが玉づくり」(講師：平栗美紅解説員)を実施しました。参加者は石を耐水ペーパーで磨いて、オリジナルのまが玉を熱心に作りました。



きれいに出来たね！

◆2月11日(火・祝)、第35回北方民族博物館開館記念感謝DAYとして、北方モチーフ簡単マグネット作り、かんじき体験、無料開館を実施しました。



おしるこもふるまわれました。



かんじき体験の様子

学芸員実務実習

◆1月28日(火)～2月2日(日)、2024年度の北海道立北方民族博物館学芸員実務実習として4名の実習生を受け入れました。

北方民族博物館だより No.136

令和7年(2025年)3月19日発行
編集・発行 北海道立北方民族博物館
〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1
Tel 0152-45-3888 Fax 0152-45-3889
e-mail: tonakai@hoppohm.org
http://hoppohm.org
指定管理者
一般財団法人北方文化振興協会